

デジタルアーカイブの父が語る

日本が目指すべき情報社会の彼方

日時

令和6年1月25日(木)

15:00~16:30 (14:00開場)

会場

はまぎんホール ヴィアマーレ

(桜木町駅5分 みなとみらい駅7分)

対象・定員

県内の企業経営者、管理職、技術者、大学・短大・専門学校学生、ものづくりに関心のある方等

450名/無料

参加方法

事前申込制 / お申込み多数の場合は抽選

「e-kanagawa 電子申請」システムで受付

受付期間

令和5年11月1日10時から12月25日10時まで

詳しくは裏面をご覧ください。

自動翻訳や自動運転。

今、我々の身の回りには人工知能(AI)を組み込んだシステムが多く現れてきています。AI技術は、産業はもちろんのこと、教育、医療、農業、防災など様々な分野で活用されはじめ、加速する社会のデジタル化に大きな影響を与えています。特に最近メディアで話題のChatGPTやBardといった対話型AIは、作業の効率化によりコスト削減や利益率の向上が図れるだけでなく、顧客満足度のアップや働き方改革の促進にもつながると、ものづくり分野においても大きな期待が寄せられています。

しかし、このAIの研究、開発、実装では、世界的にみて日本は大きく遅れをとっているのが現状です。AIの可能性や潜む課題等を捉えつつ、日本が“技術大国”として世界で再び輝くために、これから何を目指しどのような道を歩むべきか。人々が蓄積した資産を後世に継承していく「デジタルアーカイブ」の礎を築き、提唱してきた東京大学名誉教授・月尾嘉男氏が語ります。



講師 東京大学名誉教授

月尾嘉男氏

◇講演テーマ

～デジタルアーカイブの父が語る～
日本が目指すべき
情報社会の彼方

■プログラム

- 14:00 受付開始、開場
- 15:00 主催者あいさつ
講演
- 16:30 終演

■講師プロフィール

月尾嘉男（つきおよしお）

- ・愛知県名古屋市出身。東京大学工学部建築学科卒。東京大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程修了。
- ・名古屋大学工学部建築学科教授、東京大学名誉教授。
- ・総務省総務審議官（国際担当）、総務省特別顧問を歴任。
- ・建築デザイン・設計分野におけるコンピュータ利用の草分け的存在。情報通信を活用したまちづくりや地域起こしを提唱し、全国各地に自身が塾長に就任した私塾を設けている。
- ・情報通信審議会、政府・地方自治体の審議会や懇談会の委員等を歴任。
- ・デジタルアーカイブという語を日本において初めて紹介・提唱した。現在はメディア政策、地球環境問題に関心を持ち、専門領域は多岐に渡る。
- ・東京大学退職後、チリ最南端ホーン岬のカヤックで探検など冒険家としても活動。趣味はカヤック、クロスカントリースキー。
- ・著書：『清々しき人々』（遊行社 2018年）、『転換日本—地域創成の展望』（東京大学出版会 2017年）、『幸福実感社会への転進』（モロロジー研究所 2017年）、『日本が世界地図から消滅しないための戦略』（致知出版社 2015年）、他多数

■参加方法

○事前申込制

○参加無料／定員450名／お申込み多数の場合は抽選

○お申込みは、人材育成支援センターのホームページから「e-kanagawa電子申請」システムで受付します。

人材育成支援センターホームページURL <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/bt2/jinzai/index.html>

申込期間 令和5年11月1日（水）10時から12月25日（月）10時まで

○参加の可否は、令和6年1月10日（水）までに「e-kanagawa電子申請」からメールでお知らせします。

○当日は「e-kanagawa電子申請」から送付される当選通知をお持ちください。

※「神奈川県個人情報保護条例」により、申込者の個人情報は、本フォーラムに関する業務以外に使用することは一切ありません。



センターホームページ
(二次元コード)

■会場案内

はまぎんホール ヴィアマーレ

(横浜市西区みなとみらい3丁目1-1)

●アクセス

【JR・横浜市営地下鉄】

桜木町駅下車「動く歩道」利用 徒歩5分

【みなとみらい線】

みなとみらい駅下車

「クィーンズスクエア連絡口」徒歩7分

「けやき通り口」徒歩7分

※ 駐車場はございません。ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

